

東海村のアーティストをご紹介します コンサートvol.5 ～魅力あふれるジャズの世界～



本村出身・在住・在勤のアーティストを、シリーズで紹介するコンサートの第5弾です。今回は、本村出身のジャズボーカリスト・武田愛さんが出演します。武田さんとバンドメンバーによるジャズライブ、東海村吹奏楽団との共演をお楽しみください。

期日▼10月13日(土)

時間▼午後2時開演(午後1時30分開場)

場所▼東海文化センター

入場料▼1,000円

／人(高校生以下は500円／人)※全席自由

で、未就学児の入場はできません。

その他▼保育サービス(1,000円／人)を希望する方は、10月6日(土)までに申し込みください。

申し込み・問い合わせ▼東海文化センター(☎282-8511)窓口およびプレイガイドで入場券を販売しています。

さて、東海村の夏のコナラ・クヌギ林に発生する、代表的なキノコの一つがチチタケです。チチタケは、かさと柄が黄褐色から橙褐色で、かさの裏側のひだは類白色から淡黄色、かさの直径が3〜10センチメートル程度、柄の高さは4〜12センチメートル程度のキノコです。チチタケの大きな特徴は、キ



乳液を出すチチタケ(須和間地内)

なお「チチタケ」とは「乳茸」の意味で、乳液を分泌することに由来しています。この乳液にはうま味成分が多量に含まれていますので、チチタケを調理する際には、できるだけ乳液をこぼさないように扱うことがおいしく食べるコツです。

陸大宮市や桜川市など、栃木県に隣接した地域では同様に食用とされます。

東海村の台地上には、コナラやクヌギなどの落葉広葉樹からなる森林が点在しています。このような森林には、夏から秋にかけてさまざまなキノコが発生します。中でも、7月中旬から下旬の梅雨明け前後や、8月下旬の夏休み終盤の頃には、コナラ・クヌギ林の中はさまざまなキノコの姿であふれます。青々とした葉がうっそうと茂った蒸し暑い林内を、セミたちの大合唱を聞きながら、スズメバチなどの襲撃に注意しつつ歩いてみましょう。すると、赤、黄、緑、白、黒と、色とりどりのキノコが出迎えてくれるでしょう。

ノコを傷つけると白色の乳液を分泌することです。この乳液は粘性があり、乾燥すると茶褐色となります。チチタケの乳液には、ゴムノキが出す乳液と同じ成分であるポリイソプレレンという物質が含まれており、天然ゴムとも言える組成です。チチタケは食用キノコとしても知られ、特に栃木県では「チチタケ」と呼ばれ、好んで利用されています。チチタケはぼそぼそとした食感ですが、大変良いだしが出るため、そばやうどんのつゆに入れて賞味されます。チチタケとナスと一緒に油で炒め、そばの具に入れた「ちたけそば」は、栃木県が誇る郷土料理の一つです。茨城県でも、常

ふるさと歴訪
〜自然を探して〜

夏のキノコ「チチタケ」

千葉科学大学専任講師

糟谷 大河